

# 双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 5/22 第7号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

## 第1回トークイン双ヶ丘

5月19日（木）に今年度最初の「トークイン双ヶ丘」を実施しました。「トークイン双ヶ丘」は、年間4回、全校集会などの生徒会担当の時間に、各クラスの代表がスピーチを行います。私も楽しみにしている行事の一つです。第1回目のテーマは、「中学生になって」「2年生になって」「最高学年になって」でした。代表生徒の発表の一部を紹介します。



1年 男子

「ぼくは中学生になって、新しい自分に気づき、自分ができてなかったことができるようになったり、自分からしようという勇気がいっぱいでした。」

※新しい自分を発見し、新しいことにチャレンジしてください。



1年 女子

「私は、まだ中学生だし出来ないこともたくさんあります。でも小学生のころより出来ることは増えました。その出来ることをしっかりやり、できないことは誰かに助けてもらいながら、出来るようになりたいです。」

※自分でできることを周りの人に手助けしてもらって増やしていこうと決意しました。



2年 男子

「才能も大事だけど努力でぬかせると思うから、2年では何でも努力していきたいです。先輩としても、みんなを助けていけるような先輩になれるようがんばりたいです。」

※「努力を続けられることは最大の才能」という言葉があります。先輩としての自覚と責任感を感じたトークでした。



2年 女子

「苦手を克服していけるように努力しよう！と思います。あたり前のことだけど、提出物をしっかり出すなど、あたり前のことをもう一回見直していこうと思っています。」

※「凡事徹底」という言葉があります。「あたり前のことをあたり前に行うこと」は意外に難しいです。



3年 女子

「これからの目標として私は、新しいことにチャレンジしたいと思う。今までは嫌なことから逃げてきたけど、新しいことに挑戦することによって視野が広がるのではないかなと思う。」

※逃げずにチャレンジする。素晴らしいことです。ぜひ実行してください。



3年 女子

「中学校の最後の1年を充実したものにし、卒業したとき、心から笑って涙できるようにしようと思っている。」

※「卒業式」というゴールに向かって1日1日を大切に過ごして、学校生活を充実させてください。